

福井市夜間景観ガイドライン の改定案について

經 緯

現夜間景観ガイドライン策定の背景

策定時期 平成20年7月

背景

- 福井市景観基本計画内で景観形成の方針の1つとして「魅力ある夜間景観の創出」が掲げられている
- ライトアップやイルミネーション等の自主的な取り組みが増えてきた
- ライフスタイルが変化し、夜間の外出機会が増大していた
- 新しく整備されたJR福井駅



良好な夜間景観の形成に向けて指標となるものが必要

現夜間景観ガイドラインの概要 目的

○福井の個性を活かした夜間の魅力創出のあり方を示す

福井固有の景観資源を活かしながらより魅力的な夜間景観の創出を図るため、夜間景観の形成に関する基本的な方針や考え方を示すとともに、日常・非日常を含めた光の整備・演出のあり方を示すことを目的としている。

○市民が快適に暮らせるための夜間の光のあり方を示す

安全で快適、楽しみながら歩ける歩行者空間を形成するとともに、地域全体の夜間の快適性を高めるための光の創出のあり方を示すことを目的としている

○住環境及び自然環境にやさしい光のあり方を示す

光害の防止や自然環境への負荷の軽減を図るため、環境にやさしい適切な光のあり方を示すことを目的としている。

現夜間景観ガイドラインの概要 夜間景観の例



旧福井駅西口



旧福井駅西口



AOSSA



旧福井銀行



旧織協ビル



大名町交差点

現夜間景観ガイドラインの概要 照明に関する基礎知識 (抜粋)

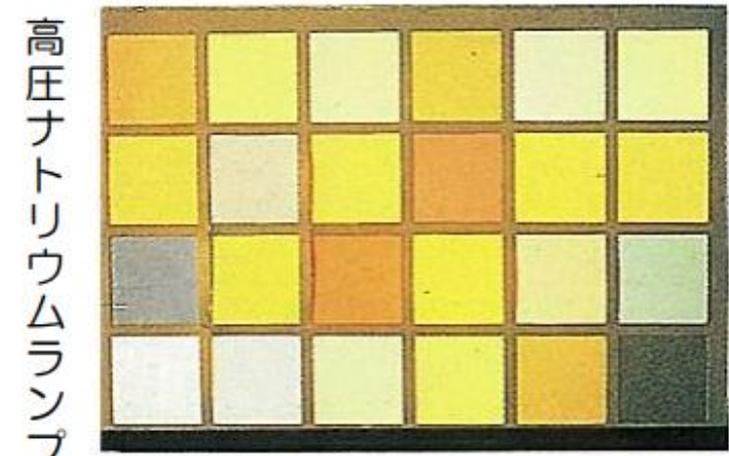
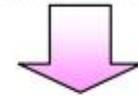
通路、広場、公園の照度基準値

場 所		照 度 (lx)
通路 (地上)	アーケード、商店街 (繁華) *1	200~750
	アーケード、商店街 (一般) *1	100~300
	商店街 (繁華)	30~100
	商店街 (一般)	10~ 50
	市街地	5~ 30
	住宅地	1~ 10
交通関係広場	駅前広場、空港広場 (交通量大)	10~ 75
	駅前広場 (一般)	2~ 30
公 園	主な場所	5~ 30
	その他の場所	1~ 10

○照度に関する説明



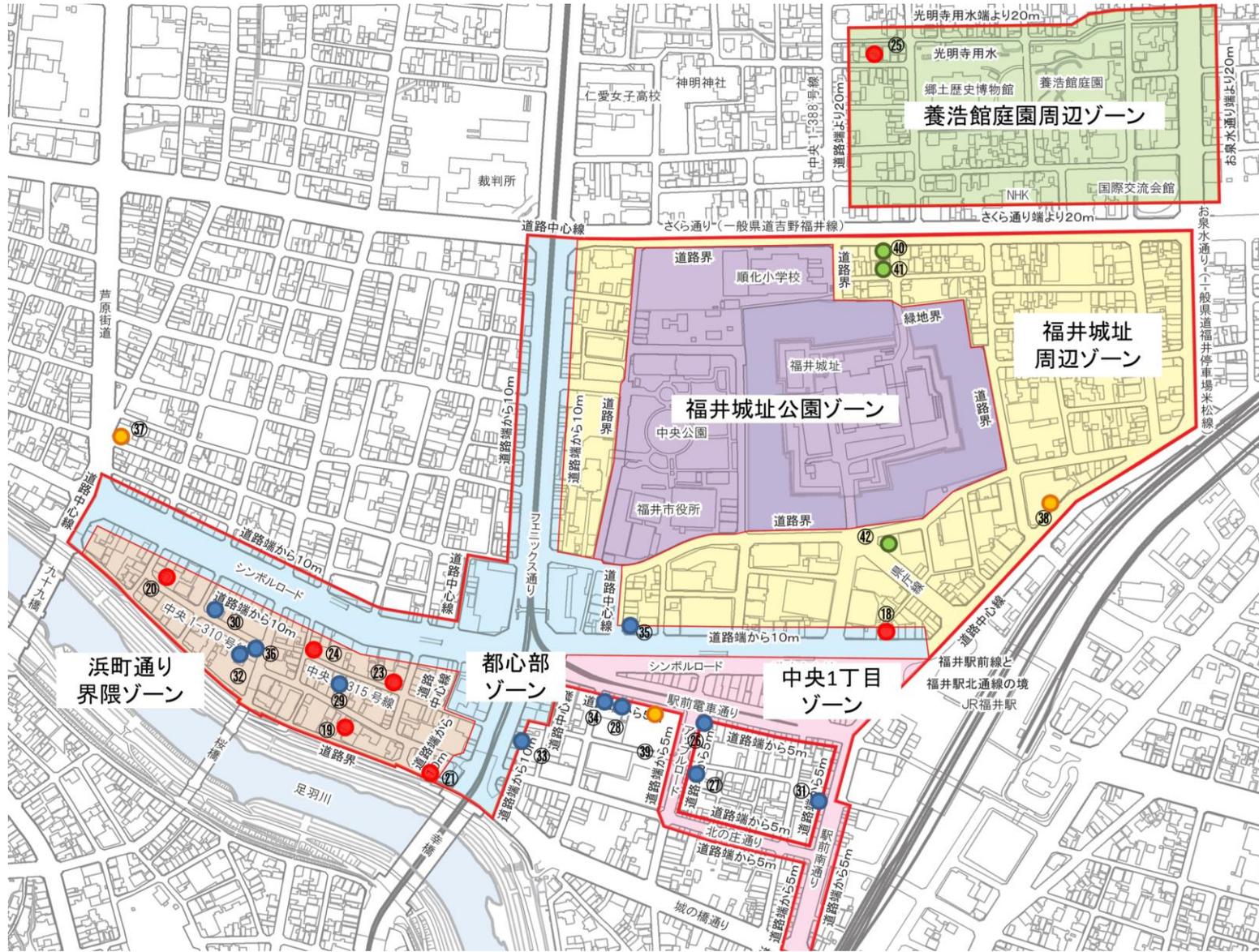
昼
光



高
圧
ナ
ト
リ
ウ
ム
ラ
ン
プ

○演色性に関する説明

まちの変化 景観まちづくり事業 ハード支援実績 (H22~R6 : 26件)

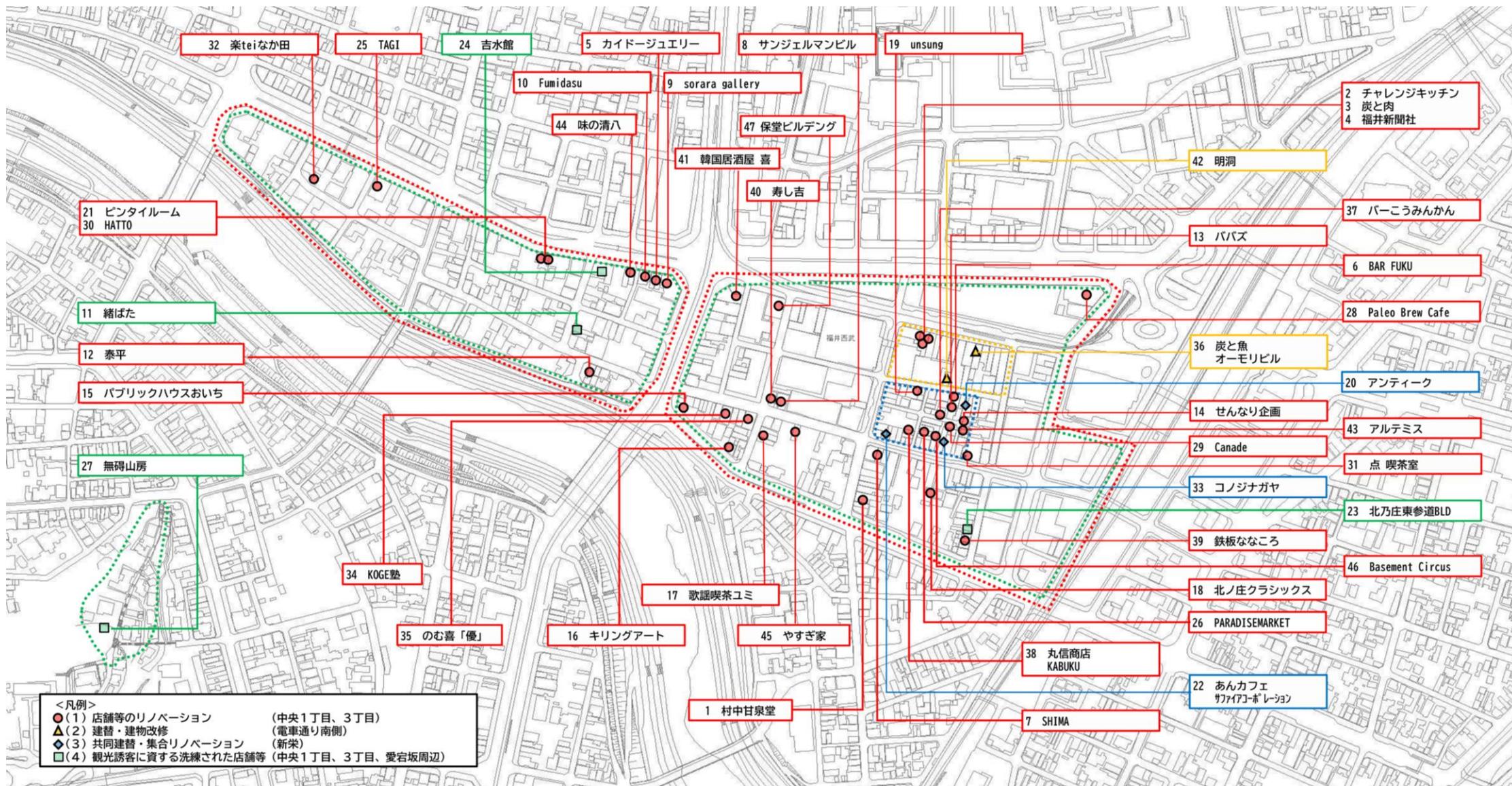


景観形成助成制度	番号	年度	内容	助成額 (千円)	建物
	⑮	H22	外観の修繕、特定照明、屋上設備の隠蔽	904	プラザホテル
	⑰	H22	外観の修繕、庇の新設	1,820	料亭 山楽
	⑳	H23	外観の修繕(1階部分)	205	料亭 匠さし
	㉑	H23	新築の外観、植栽	412	住宅(蓮浦宅)
	㉒	H24	認定団体によるオープンスペースの改良整備(地蔵上屋立替、上屋周辺雑木伐採・紅葉植樹)	1,000	西新町 鼻欠地蔵上屋 ※団体に対する助成
	㉓	H25	外観の修繕、植栽、特定照明、附帯設備の隠蔽	753	かつぎ
	㉔	H26	新築の外観、外構の緑化、塀の新築、特定照明、広告物の改善	1,454	浜町安文酒店
㉕	H26	新築の外観	388	住宅(津田宅)	

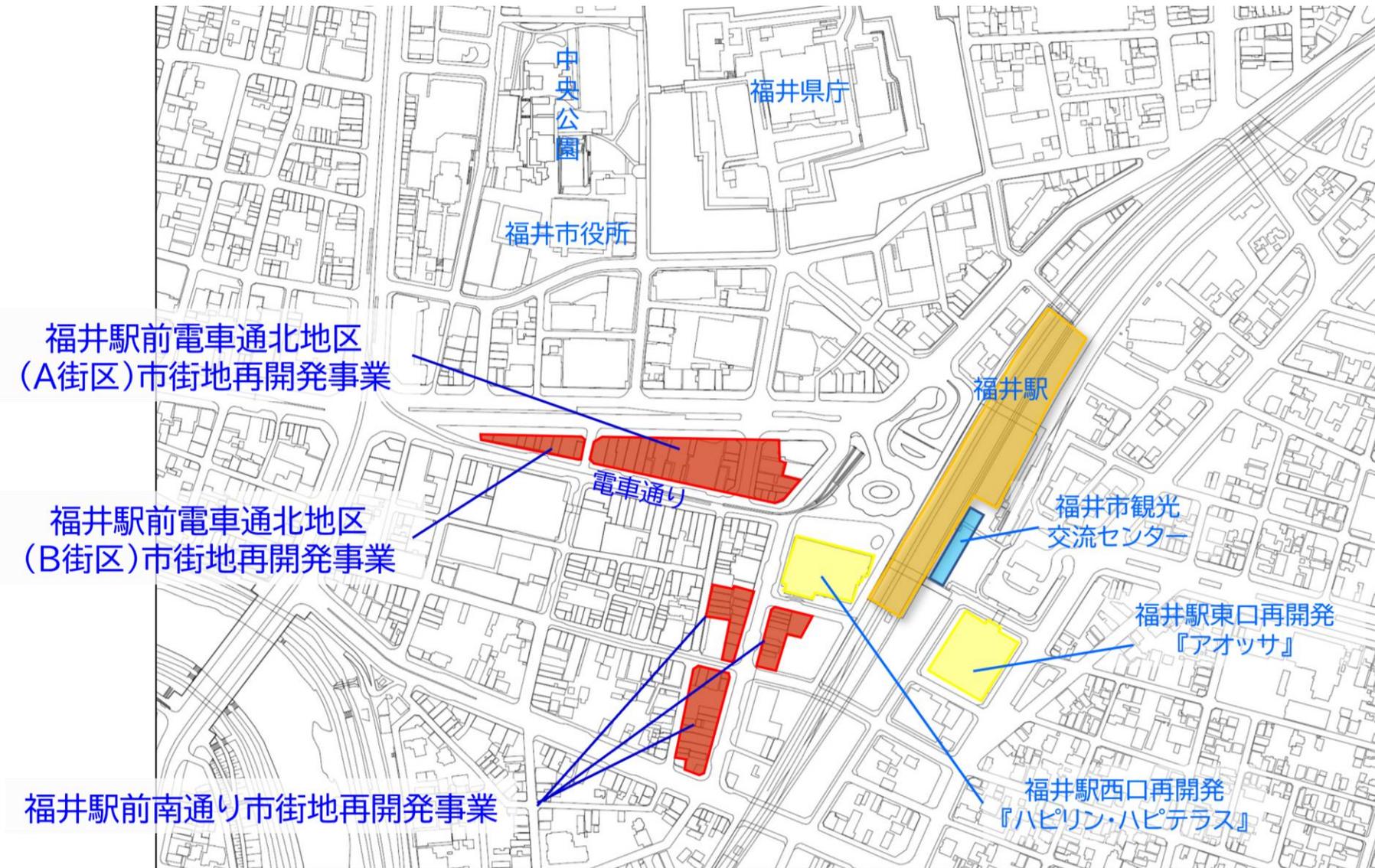
美しいまちづくり事業 地域の住民等による 県都の顔づくり事業	番号	年度	内容	助成額 (千円)	建物
	㉖	H27	外観の修繕、照明	2,000	フルーツのウメダ
	㉗	H27	外観の修繕、照明	680	正午堂
	㉘	H27	外観の修繕	650	福洋
	㉙	H28	新築の外観、照明、植栽	5,000	一乃松
	㉚	H28	外観の修繕、照明、植栽	1,380	CraftBuilding浜町
	㉛	H28	外観の修繕、照明	1,230	青木歯科
	㉜	H29	新築の外観、照明、植栽	2,342	住宅(清水宅)
	㉝	H30	塀の設置、駐車場舗装仕上げ	123	仙田竜
	㉞	R元	外観の修繕、照明	1,015	田中眼鏡
	㉟	R2	新築の外観、照明、植栽	2,178	アクシス大手町
	㊱	R3	外観の修繕、照明、植栽	1,992	浜町ビル
㊲	H29	寄合カフェ整備	2,000	(住宅)清水康江	
㊳	H30	ランドリーカフェ整備	1,807	アイサーブ	
㊴	R2	賑わい広場整備	10,000	西武福井店	

景観まちづくり事業	番号	年度	内容	助成額 (千円)	建物
	㊵	R4	外観の整備、照明	1,610	木村ビル
	㊶	R4	外観の整備、照明、植栽	2,595	呉服の佐々木
㊷	R5	外観の整備、照明、植栽	3,000	美術館(日野メカニカル)	

まちの変化 県都まちなか再生ファンド支援実績 (R4~7: 47件)



まちの変化 市街地再開発事業の施行状況



まちの変化 「みち」から「まち」を変える取組 「ふくみち」



今まで通過していた“みち”を人の滞留する空間へ



<中央大通り、県庁線、電車通り>



まちの変化 足羽川河川敷を活用したにぎわい創出

河川占用許可の特例制度を活用し、
まちなかの河川空間を活用したイベントを実施



足羽川アクティビティセンター
「ヨリバ」



上:水上バイク・SUP体験
左:まちなかキャンプ



○カフェ(ヨリバ) ○まちなかキャンプ ○焚火イベント
○BBQ ○水上バイク・SUPなどのアクティビティ体験

など

第40回景観審議会の結果（令和6年11月14日開催）

共通認識

- 新幹線開業効果の最大化と持続化を図るためには、来街者が何度でも福井に訪れたくなるような魅力ある都市景観の形成がこれまで以上に重要
 - 良好な夜間景観の形成は、来街者の満足度の向上や滞在時間の延長につながり、持続的なにぎわいを生み出すための重要なポイント
-
- 現ガイドラインは、近年の都市開発の状況や照明機器の技術進歩等が反映されていない
 - 現ガイドラインは、主に行政による取組を対象とし、民間主体の夜間景観を形成するためには不十分な状態である

<主な意見>

- ① 夜間景観ガイドラインの見直しを図ること。
- ② ガイドラインの実効性を高めるための方法を検討すること。
- ③ 市民、事業者等様々な立場の意見を聴取すること。
- ④ 夜間景観の重要性について、市民に伝わる工夫を行うこと。

改正の方向性

①全体の構成

方針や理念の説明を簡略化し、イメージが伝わる情報の量を増加

②視覚的な情報

具体的な整備のイメージや照明の活用方法などが、一目で伝わるように、写真や図を効果的に使用

③情報の更新

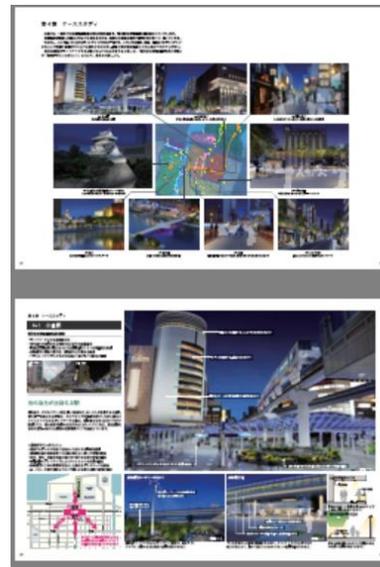
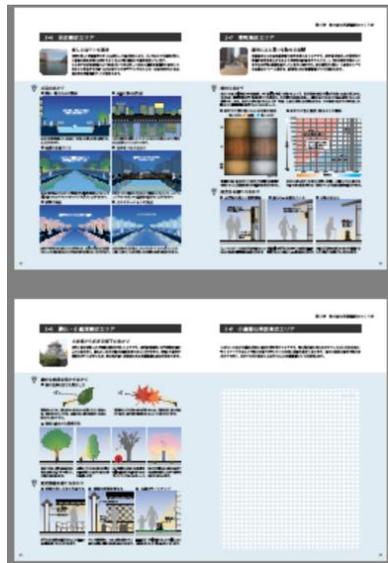
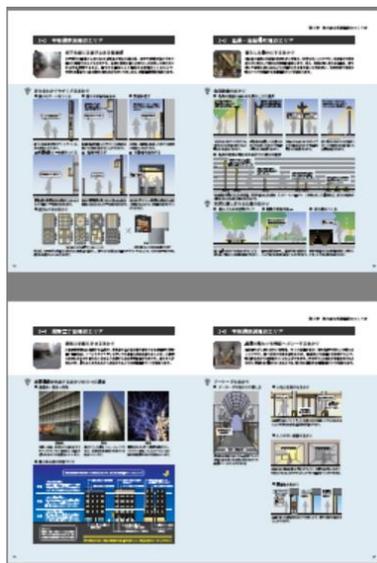
現況の写真や照明の技術革新等の更新



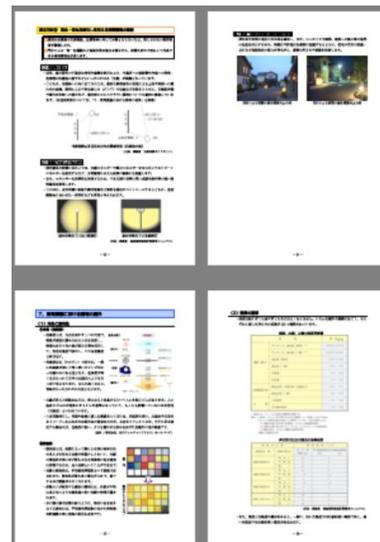
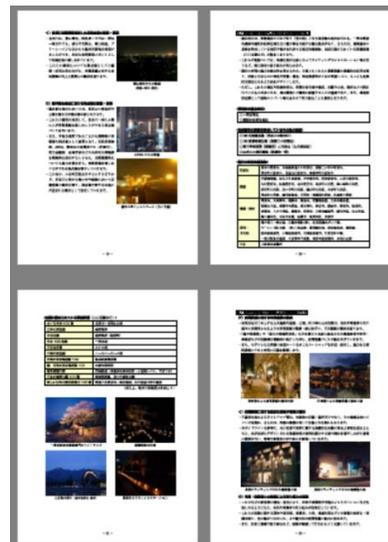
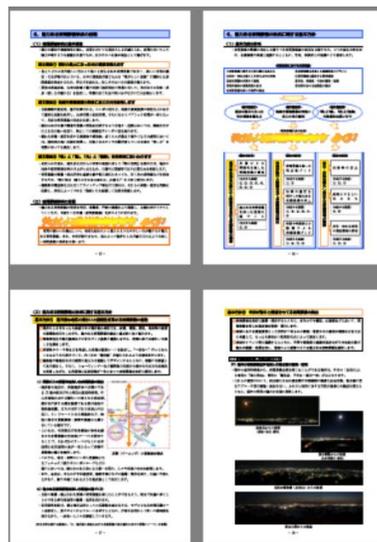
参考：北九州市小倉都心地区夜間景観ガイドライン

全体比較

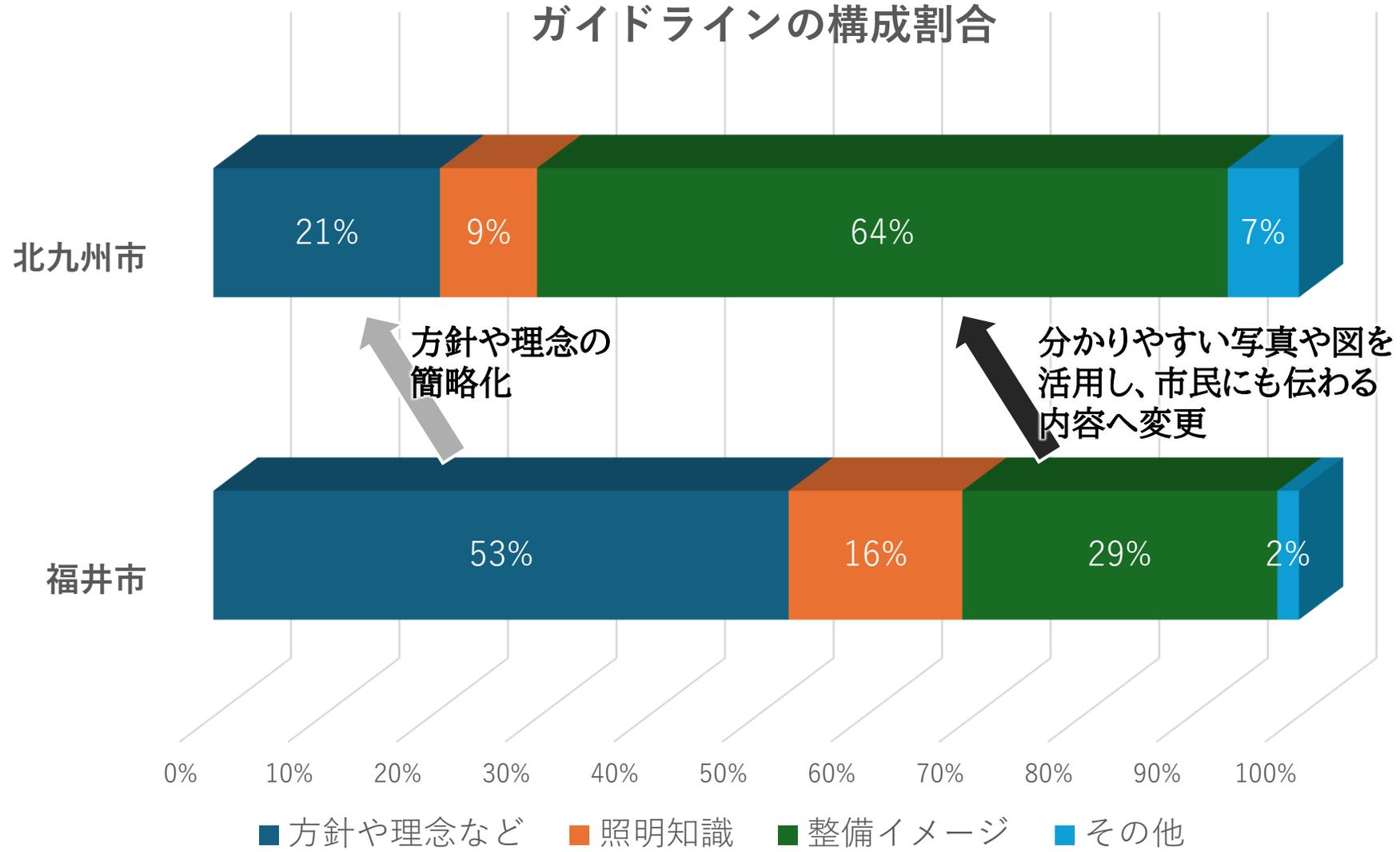
北九州市



福井市



改正の方向性 全体構成



参考：北九州市小倉都心地区夜間景観ガイドライン

改正の方向性 視覚的な情報



参考:福井市夜間景観ガイドライン



参考:北九州市小倉都心地区夜間景観ガイドライン

改正の方向性 視覚的な情報

第4章 ケーススタディ

4-3 隅外通り

魅力ある夜間景観形成の視点

- ・通りの幅員に合った照明の高さ設定
- ・通りの個性の演出
- ・通りの入り口のわかりやすさ
- ・回遊性を高めるような照明演出



人の流れをつくるあかり 歴史と語らいの繁華街

明治の文豪、森鴎外が過ごした旧態が残る隅外通り。多くの飲食店が軒を連ね、夜も多く人が行き交う通りで、個性にぎわいを演出する光環境を演出します。城下町の町割りの重影を感じさせる、シンプルで日本的な照明デザインや、通りの幅員に合ったヒューマンスケールの高さを抑えた光で、通りの連続的なつながりと、陰影のある、散策したくなるような空間を描いています。

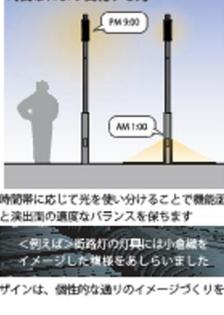
<照明デザインポイント>

- ・街路灯は通りの幅員に対して適切な高さを設定
- ・適度な輝度感のある街路灯を連続させて通りにつながりにぎわいを演出
- ・歩行者を優先した回遊性を高める光環境を演出
- ・街路灯の意匠を統一することで通りの一体感を演出
- ・入口や交差点などに光を配置して通りをつなぐ節節点を演出
- ・お寺や交差点、民間施設など夜間景観への積極的な参加

街路灯のデザイン



時間帯により変化する光



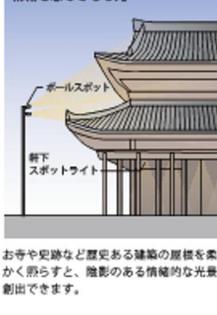
民間施設のまちづくりへの参加



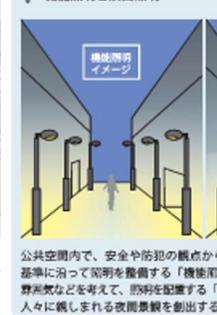
目隠しや軒下を際らし内と外を光でつなぐ



情緒を感じさせる光



機能照明と演出照明



街路灯は通りの幅員に対して適切な高さを設定
適度な輝度感のある街路灯を連続させて通りにつながりにぎわいを演出
街路灯の意匠を統一することで通りの一体感を演出

深夜は足元を照らすなど歩行者を優先した
回遊性を高める光環境を演出

①照明による、良好な夜間景観のイメージが一目で分かる。

②夜間景観のイメージ写真の隣に、現状写真があることで照明の効果を実感しやすい。

③照明を活用するポイントがあわせて記載されており、理解しやすい。

策定時の写真



LED普及前の情報

□発光ダイオード（LED）について

・発光ダイオード（LED）の現状

LEDは、省エネ対策として有望な光源の1つである。信号機、自動車用表示灯への普及は急速に進んでいるが、一般照明への普及はこれからである。一部に実用化が図られている。

照明用としてのLEDは、ダウンライトや常夜灯といった間接照明や補助灯の役割が多く、部屋の中を明るく照らす“主照明”として使われる段階には今のところ至っていない。主たる理由は、効率がまだ低く、製品コストも高いために蛍光灯等に及ばないことである。現在、LEDメーカーではこれらの短所を克服するために技術開発を進めている。

スケジュール案

改定スケジュール・体制（案）

改定スケジュール

令和7年度									令和8年度
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	4月
上旬	★第1回景観審議会 (7/4)	○第1回専門部会 (8/4)							新ガイドライン施行
中旬						★第2回景観審議会			
下旬				●中間報告	○第2回専門部会		答申	完成	
備考							答申 ・審議会会長より市長へ答申	概要版印刷 ・A3両面カラー	

専門部会（案）：ガイドラインのより詳細な部分について調査・検討を行う

氏名	所属、役職名等	分野
板倉 満代	福井県建築士会	建築設計・監理
藤澤 芳一	ランドスケープアーキテクト	緑・ランドスケープ
三寺 潤	福井工業大学環境学部 デザイン学科教授	都市デザイン・土木

ガイドライン改定に向けて 全体構成素案

現ガイドライン：全45P（平成20年7月策定）

1 はじめに

- ・福井市における夜間景観の重要性
- ・夜間景観ガイドラインの目的、位置付け

2 福井市の夜間景観の基本的構成

3 福井市の夜間景観の現状

- ・主要な夜間景観の眺望（視点場としての状況）
- ・主要な界限（福井都心地区）における夜間景観
- ・主要な界限（福井都心地区）においてライトアップされた建築物等の例

4 福井市の夜間景観における主な課題

5 魅力ある夜間景観形成の目標

- ・夜間景観形成の基本理念
- ・夜間景観形成の目標

6 魅力ある夜間景観の形成に関する基本方針

- ・基本方針の体系
- ・魅力ある夜間景観の形成に関する基本方針

7 夜間景観における照明の要件

- ・光色と演色性
- ・照度の基準
- ・主な光源と特徴
- ・照明方式と主な特徴
- ・照明計画における留意点
- ・照明設備の保守と更新

8 福井都心地区における夜間景観の魅力創出に向けた整備イメージ

- ・福井都心地区の範囲と夜間景観形成の重要性
- ・福井都心地区における夜間景観の整備・演出等の状況
- ・界限ごとの夜間景観の整備・演出イメージ
- ・魅力ある夜間景観を楽しむ基本的な回遊ルートの設定

9 光のデザインに関する今後の取り組み方

ガイドライン改定素案

1 はじめに

- ・夜間景観ガイドラインの目的
- ・福井市のまちづくりの方向性
- ・夜間景観の現状と課題

2 魅力的な夜間景観を作るために

- ・夜間景観形成の基本方針
- ・重点エリアの設定
- ・エリア別・特徴の取りまとめ
- ・エリア別 夜間景観形成の考え方
 - > エリアの特徴を活かす照明手法
 - > 対象物への光の当て方 等

3 ケーススタディ

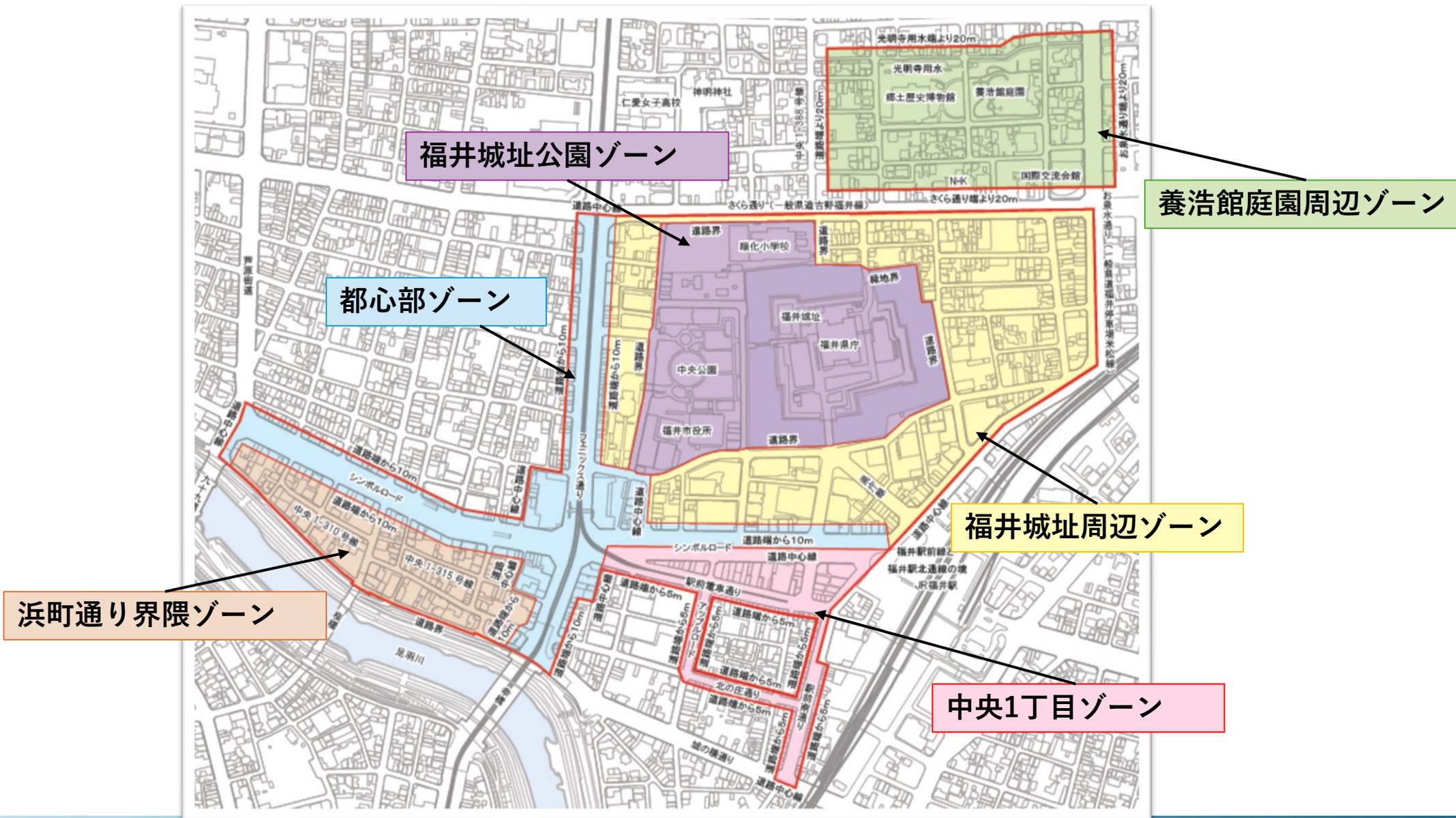
- ・各エリア2ページ構成程度でケーススタディを展開
 - > 現状の写真
 - > 整備イメージパース
 - > 照明整備のポイント
 - > 整備イメージ内の注視したい項目の紹介
 - > 第2章で紹介した「対象物への光の当て方」で該当するものを掲載
 - > 民間でできる工夫や簡単な手法なども記載

4 あかりの基礎知識

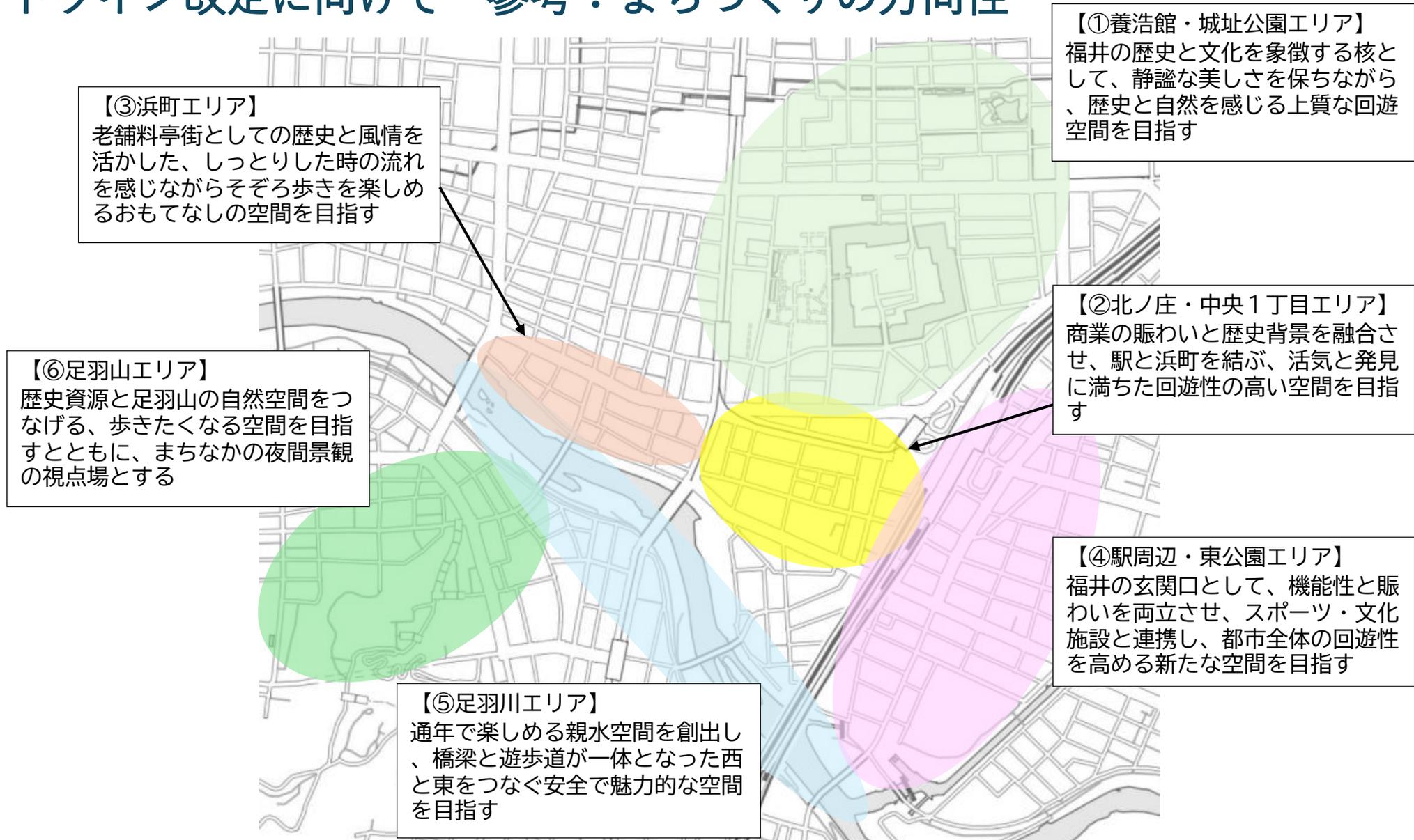
- ・色温度
- ・鉛直面の明るさ感
- ・照明器具の種類

5 魅力ある夜間景観づくりの進め方

ガイドライン改定に向けて 参考：福井都心地区特定景観計画区域



ガイドライン改定に向けて 参考：まちづくりの方向性



ガイドライン改定に向けて：現状と課題

◆道路景観



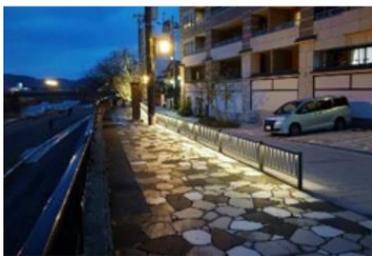
◆ビル景観



◆中央公園



◆足羽川周辺遊歩道



◆浜町エリア



店舗の美しい漏れ光もあるが、界隈性がとぼしく夜間の心地よさは希薄。

◆浜町～愛宕山



◆足羽川エリア



◆各橋梁
桜橋



幸橋



◆養浩館周辺



◆福井城址周辺



◆福井駅西口エリア



◆東公園エリア



◆北ノ庄（駅西）エリア



商業施設のリノベーションなどが進み、雰囲気更新されつつある。

